

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	1	母子保健
4年後のまち	①	パートナーや家族の妊娠・出産に対する理解が広がり、安心して妊娠・出産にのぞめる妊婦が増えている。
	②	健診等の制度や地域の活動を利用することで、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成29年5月実施】

設問①	パートナーや家族の妊娠・出産に対する理解が広がり、安心して妊娠・出産にのぞめる妊婦が増えている。				設問②	健診等の制度や地域の活動を利用することで、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。			
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	43	7.9%	11.1%	11.1	そう思う	89	15.2%	19.4%	19.4
どちらかというと思う	135	24.7%	34.9%	26.2	どちらかというと思う	222	37.8%	48.5%	36.4
どちらとも言えない	154	28.2%	39.8%	19.9	どちらとも言えない	126	21.5%	27.5%	13.8
どちらかというと思わない	34	6.2%	8.8%	2.2	どちらかというと思わない	17	2.9%	3.7%	0.9
そう思わない	21	3.8%	5.4%	0.0	そう思わない	4	0.7%	0.9%	0.0
わからない	149	27.2%			わからない	123	21.0%		
無回答	11	2.0%			無回答	6	1.0%		
総数	547	100.0%			総数	587	100.0%		
有効回答数	387		100.0%	59.4	有効回答数	458		100.0%	70.5
						全設問の平均		64.9	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
①	妊婦11週以前での妊娠届出率(%)	妊婦届出総数に対する11週以前での妊娠届出数の割合。できるだけ早期に妊娠届出を行うよう啓発を行い、妊娠初期から母体及び胎児の健康管理の機会をつくることを目指します。		H28	H28
				94.7	96.0
担当課	健康課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所) 妊娠届出	
②1	新生児・乳児訪問の実施率(%)	新生児訪問やこんには赤ちゃん事業など乳児期に行った、保健師・助産師訪問の実施率。出産後の不安を抱えやすい時期に、専門職による訪問を行うことで、育児に関する知識の普及や不安の解消を図り、母親の心身の健康状態の安定を図ります。		H28	H28
				98.7	96.8
担当課	健康課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> 昨年よりも訪問拒否は減ったものの、転出したこと、母子ともに里帰りのため期間内に訪問できなかったケースが増加したため。	指標の把握方法(数値の出所) 訪問実績報告	
②2	乳幼児健診受診率(%)	乳幼児(3か月児、7か月児、12か月児、1歳6か月児、3歳6か月児)健診の平均受診率。健診体制の見直しを行った(平成24年)ことにより、更なる受診率向上を目指します。		H28	H28
				99.0以上	96.2
担当課	健康課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> 3歳6か月児健診は、すでに幼稚園や保育園での内科健診を受けている児が増加していること、受診できる医療機関が減り、期間内での受診ができなかったことも理由として考えられる。受診率が96.2%と昨年度よりも減少した。	指標の把握方法(数値の出所) 乳幼児健診対象児のうち受診した児の割合	

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成29年5月実施】

②2	妊婦健康診査や乳幼児健康診査を受け、健康状態を把握している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	41	7.0%	29.3%	29.3
取り組んでいる	39	6.6%	27.9%	20.9
少し取り組んでいる	27	4.6%	19.3%	9.6
あまり取り組んでいない	10	1.7%	7.1%	1.8
全く取り組んでいない	23	3.9%	16.4%	0.0
無回答	136	23.2%		
該当しない	311	53.0%		
総数	587	100.0%		
有効回答数	140		100.0%	61.6

4 行政の4年間の主な取組

取組No	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	働く妊婦や母親に対し、利用できる制度の情報提供を行います。	母子健康手帳交付	妊娠11週以前での妊娠届けによる母子手帳発行数:867件 妊娠届出者全員に対し、保健師等の専門職が面接を実施。各種制度の説明を行った。 867件/903件(全体)=96.0%		健康課
①2	妊娠・出産・子育てに関する知識、技術を習得する機会や情報の提供を行います。	パパママ教室・パパ講座	初妊婦およびそのパートナーが妊娠・出産・育児に関する知識と技術を習得する機会として、「パパママ教室」「パパ講座」を実施した。 パパママ教室参加延べ人数:364人 パパ講座参加者数:288人	妊娠届出者数の減少傾向に伴い、教室参加者数が減少。	健康課
①3	父親の母親に対する精神的支援や理解の必要性の啓発を行います。	パパ講座、父子手帳交付	パパ講座に参加した夫婦数:144組 定員に対する参加率:144組/180組=80.0%	参加希望者数が開催月によって偏りがあり、何組かは参加を断らざるを得ない月があった。	健康課
①4	妊産婦・新生児訪問や妊婦健康診査を実施します。	妊婦一般健康診査、妊産婦・新生児訪問指導事業	新生児・乳児訪問の実施率 947/978=96.8%（対象者に対する実施率） 未訪問理由…訪問拒否10件・電話訪問3件・里帰り先での訪問5件・転出等10件・乳児院3件		健康課
①5	未熟児への支援のため、産科医療機関との連携を強化します。	未熟児訪問指導事業	出産医療機関からの情報提供により未熟児訪問指導を実施した。 未熟児訪問延べ件数:45件		健康課
①6	不育症治療費の助成制度の創設を検討するとともに、相談体制の検討を行います。	不育症治療費助成事業【マニフェスト 33】	不育症治療費助成制度を創設した(H28から運用開始)。不育症の相談については、専門の相談員が対応する「奈良県不妊専門相談センター（不育症の相談も対応可能）」を紹介した。 実績3件。		健康課
②1	母子保健推進ボランティアの能力向上のための研修等を行います。	母子保健推進員研修会	健康づくり推進員対象に年3回の研修会を実施した。		健康課
②2	疾病の早期発見、早期治療、障がいの早期発見などを行うため、乳幼児健康診査を実施します。また、健診の事後フォローを実施します。	乳幼児健康診査事業【マニフェスト 19】	3か月・7か月・12か月・1歳6か月・3歳6か月児健康診査を実施した。 平均受診率:96.2%		健康課
②2	疾病の早期発見、早期治療、障がいの早期発見などを行うため、乳幼児健康診査を実施します。また、健診の事後フォローを実施します。	親子教室での集団支援、個別発達相談【マニフェスト 19】	親子教室（ひまわり教室、なかよし教室、なかよし広場）を実施し、児の成長発達を促すとともに、保護者支援を行った。 参加人数:121人 延べ参加人数:847人		健康課
②2	疾病の早期発見、早期治療、障がいの早期発見などを行うため、乳幼児健康診査を実施します。また、健診の事後フォローを実施します。	幼稚園、保育園への施設支援事業【マニフェスト 19】	市内幼稚園・保育園へ発達相談員および保健師が巡回し、集団生活での状況観察や養育者からの相談に対応し、幼児の発達支援を行った。		健康課
②3	疾病予防のために、予防接種を実施します。	各種予防接種事業	定期予防接種（ヒブ・小児用肺炎球菌・B型肝炎・4種混合・BCG・水痘・麻疹風疹・日本脳炎・ジフテリア破傷風・子宮頸がん・高齢者インフルエンザ・高齢者肺炎球菌）を実施した。		健康課

②4	健診未受診者の追跡システムを構築し、医療機関その他関係機関との連携の強化を図ります。	乳幼児健康診査事業	健診対象月の2か月後に未受診者を抽出し、保育園・幼稚園等への所属の確認を行う。所属のない児については、保健師が電話にて確認。連絡が取れない児については、家庭訪問や医療機関への受診状況の確認を行うなど児の状況確認に努めた。なお、連続未受診者については、現認ができれば要対協への通告を行うが、今年度は0件。	健康課
②5	発達や育児への不安の解消等、親への支援と子どもの健全な育成のため、子育て・発達相談及び家庭訪問を実施します。	乳幼児訪問指導事業、各種育児相談	未熟児・新生児・こんにちは訪問を実施。また10か月児・2歳6か月児・3歳児育児相談を実施し、育児不安の解消および発達支援を行った。	健康課
②6	子育てに関する知識、技術を習得する機会や交流の場の提供を行います。	各種育児教室	10か月児・2歳6か月児・3歳児育児相談を実施し、育児に関する助言を行った。また、離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。	健康課
②7	障がい児や発達に遅れのある子どもの、医療機関や児童福祉施設等との連携による早期療育や相談体制の充実を図ります。	障がい児相談支援事業【マニフェスト 19】	障がい児や発達に遅れのある子どもたちのための相談を支援センターに委託している。この他、サポートブック「たけまるノート」の活用による関係機関との連携や個別のケース会議などを通して早期療育や相談体制の充実に努めている。	障がい福祉課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	64.9	B	妊娠届出者の減少はあるが、妊婦やパートナーを対象とした教室への参加者は横ばいもしくは増加している。各種子育て支援策は年々充実しているが、妊娠する人はここ数年減少傾向である。マタニティコンシェルジュ設置に伴い、妊娠期(母子手帳交付時)からの切れ目ない支援に重点を置いたことで、より早期に支援を行えた。平成28年度から不育症治療費助成を開始し、申請者が3件であった。H29年度は、不妊症治療費に係る経済的負担の軽減をより図るため、一般不妊治療費助成事業を開始予定。乳幼児健診は7か月・12か月児健診受診率が低下したが、受診できる医療機関が減ったことで期間内に受診できない人が増えたことが考えられる。新生児・乳児訪問等の利用率は高く、保護者の育児不安の解消や、児の成長発達の支援が行えていると判断したため、進捗度はBとした。
指標	目標値に達していない指標が多い		
市民の役割分担	61.6		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	2	保育サービス
4年後のまち	①	子どもの安全が確保され、子育てと仕事を両立させたい家庭やひとり親家庭が安心して就労できる環境が整えられている。
	②	保育サービスが充実し、必要なときに必要なサービスが受けられている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成29年5月実施】

設問①	子どもの安全が確保され、子育てと仕事を両立させたい家庭やひとり親家庭が安心して就労できる環境が整えられている。				設問②	保育サービスが充実し、必要なときに必要なサービスが受けられている。			
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	82	15.1%	19.3%	19.3	そう思う	49	9.0%	12.5%	12.5
どちらかというと思う	126	23.2%	29.7%	22.3	どちらかというと思う	150	27.4%	38.4%	28.8
どちらとも言えない	145	26.8%	34.2%	17.1	どちらとも言えない	135	24.7%	34.5%	17.3
どちらかというと思わない	48	8.9%	11.3%	2.8	どちらかというと思わない	38	6.9%	9.7%	2.4
そう思わない	23	4.2%	5.4%	0.0	そう思わない	19	3.5%	4.9%	0.0
わからない	114	21.0%			わからない	144	26.3%		
無回答	4	0.7%			無回答	12	2.2%		
総数	542	100.0%			総数	547	100.0%		
有効回答数	424		100.0%	61.6	有効回答数	391		100.0%	61.0
						全設問の平均		61.3	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
①	保育所待機児童数(人)【マニフェスト 34】	保育所入所申込者のうち、保育所に入所できなかった児童数(4月1日現在)。子育て家庭を取り巻く環境や就労の動向を考慮しながら、待機児童の減少を目指します。		10	46
担当課	こども課		入所児童選考結果 (新年度4月1日現在)	指標の把握方法(数値の出所)	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
②	一次預かり保育の延べ利用児童数(人)	家庭において一時的に保育が困難になった乳幼児について、保育所等で一時的に預かり、必要な保護を行うことにより、在宅で保育を行っている家庭等を支援します。		6,900	11,401
担当課	こども課		補助金実績報告(私立) 各園からの利用者報告(公立)	指標の把握方法(数値の出所)	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成29年5月実施】

②1	保育所、学童保育の利用に際して応分の保育料を負担している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	42	7.7%	36.5%	36.5
取り組んでいる	18	3.3%	15.7%	11.7
少し取り組んでいる	19	3.5%	16.5%	8.3
あまり取り組んでいない	7	1.3%	6.1%	1.5
全く取り組んでいない	29	5.4%	25.2%	0.0
無回答	79	14.6%		
該当しない	348	64.2%		
総数	542	100.0%		
有効回答数	115		100.0%	58.0

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	保育所と地域のふれあい事業へのボランティア参加の啓発や情報提供など、保育所と地域との積極的な交流を実施します。	はとぼっぼ公園清掃事業	毎月1回中保育園年長児が自治会員とともに清掃作業を行った。		こども課
①1	保育所と地域のふれあい事業へのボランティア参加の啓発や情報提供など、保育所と地域との積極的な交流を実施します。	公私立保育所の園庭開放	公立4園、私立9園で地域の子供達に園庭を開放し、園庭遊びだけでなく、お話しや季節ごとの行事などを実施した。		こども課
①2	学童保育児童の安全確保や地域行事参加への協力を得るため、地域住民への学童保育制度の周知を図ります。	民生児童委員との連携事業	3年に1回行政福祉研修会開催時に、登降所時の見守り等を依頼している。		こども課
①3	保育所に入所している子どもの就学に向けて、幼稚園・学校との積極的な連携を図ります。	就学前教育相談事業	特別な支援を必要とする幼児の生活や就学に関することを、就学前の5歳児を対象に年1回相談事業を実施した。		こども課
①4	保育士・学童保育指導員の資質の向上を図るための研修を実施します。	放課後児童クラブ職員研修事業	学童保育指導員の研修を5回実施した。		こども課
①4	保育士・学童保育指導員の資質の向上を図るための研修を実施します。	保育士職員研修の充実	生駒市保育会主催の研修を年4回実施した。 生駒市交流学習会を4回実施し、公私立の保育士の資質の向上を図った。		こども課
②1	適正な保育サービスが提供されるよう保育事業者に対して指導・支援を行います。	私立保育所運営費等補助事業	市単独補助を含め、保育所運営費に対する補助を行った。		こども課
②2	より円滑な学童保育運営を図るために、保護者・学校との連携を図ります。	学童保育運営事業	学校内で起こった特別な出来事等を学童・保護者へ引き継ぎ、情報の共有・連携を図った。		こども課
②3	多様化する保育ニーズに対応するとともに、就学前教育の充実を図るために、幼保一体化の検討を進めます。	(仮称)南こども園整備事業	H28年3月に南こども園建設工事を完了し、同年4月から開園した。		こども課
②3	多様化する保育ニーズに対応するとともに、就学前教育の充実を図るために、幼保一体化の検討を進めます。	(仮称)高山認定こども園整備事業の促進	高山スーパースクールゾーン構想の進捗に伴い、生駒北小学校跡へのこども園の建設が決まり、H30年4月の開園に向け、北俣保育園と高山幼稚園との職員による協議を密に行った。		こども課
②4	保護者のニーズに合わせた延長保育、一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育を実施するとともに、更なる保育サービスの充実に向けての検討を行います。	特別保育実施事業【マニフェスト 37】	・幼稚園の預かり保育の要件をなくし利用しやすとした。 ・一時預かり保育事業を市内7園で実施した。 ・一時預かり利用児童数：合計11,401人 達成率：11,401人/6,900人＝165%		こども課
②5	学童保育の適正規模を維持するとともに、安全かつ衛生的で快適な保育環境の確保を図ります。	学童保育施設整備事業	あすか野学童、生駒学童の分割工事のため、設計業務を実施した。		こども課

②6	増加する保育需要に対応するため、保育所整備を行います。	保育所緊急整備事業【マニフェスト 34】	阪奈中央こぐま園を事業所内保育所として整備し、54人(地域枠18人)の定員増を図った。		こども課
②6	増加する保育需要に対応するため、保育所整備を行います。	北部地区の保育所整備事業【マニフェスト 34】	小規模保育所の開園などを視野に入れ、保育所整備を検討した。	保育所に適した面積の空き店舗棟が少ない。	こども課
②7	駅前空き店舗等を利用した小規模保育事業を推進します。	駅前空き店舗等を利用した小規模保育事業の推進【マニフェスト 36】	H28年4月にソフィア谷田保育園を開園し、19人の定員増を図った。また、当園の整備費等に対し補助を行った。	保育所に適した面積の空き店舗棟が少ない。	こども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	61.3	C	南こども園開園、ソフィア谷田保育園開園、生駒幼稚園のこども園化等から市民実感度は上昇したが、就労世帯の流入増加や新たな保育ニーズの掘り起こしが影響し、保育所待機児童の解消には至っていない。学童保育の適正規模を維持するために、平成29年度実施のあすか野及び生駒学童施設の分割に向けた取組を進めることができた。
指標	一部目標値に達していない指標がある		
市民の役割分担	58.0		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	3	子育て支援
4年後のまち	①	地域や社会が保護者に寄り添い、親の成長を支援することにより、子どものより良い育ちを実現している。
	②	家庭、学校、地域、各機関が連携し、子どもと子育ての環境を守ることにより、子育て家庭が安全に安心して暮らしている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成29年5月実施】

設問① 地域や社会が保護者に寄り添い、親の成長を支援することにより、子どものより良い育ちを実現している。					設問② 家庭、学校、地域、各機関が連携し、子どもと子育ての環境を守ることにより、子育て家庭が安全に安心して暮らしている。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	62	10.6%	13.4	13.4	そう思う	82	15.1%	19.0	19.0
どちらかというと思う	167	28.4%	36.2	27.2	どちらかというと思う	164	30.3%	38.0	28.5
どちらとも言えない	186	31.7%	40.3	20.2	どちらとも言えない	150	27.7%	34.7	17.4
どちらかというと思わない	39	6.6%	8.5	2.1	どちらかというと思わない	21	3.9%	4.9	1.2
そう思わない	7	1.2%	1.5	0.0	そう思わない	15	2.8%	3.5	0.0
わからない	121	20.6%			わからない	106	19.6%		
無回答	5	0.9%			無回答	4	0.7%		
総数	587	100.0%			総数	542	100.0%		
有効回答数	461		100.0%	62.9	有効回答数	432		100.0%	66.0
全設問の平均								64.5	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向							
①	ファミリー・サポート事業の利用件数(件)	ファミリー・サポート事業の年間の延べ利用件数。事業の利用促進や援助会員(援助できる人)を増やすよう取り組み、過去の推移や将来の子どもの人数などを踏まえて、平成30年度に2,700件を目標とします。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>H28</td></tr> <tr><td>2,500</td><td>2,652</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H28	H28	2,500	2,652
				目指す値	実績値					
				H28	H28					
2,500	2,652									
指標の把握方法(数値の出所) 実際の利用者数										
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>										
②	地域子育て支援拠点の利用者数(人)	子育て中の親子が好きな時に集まり、遊んだり、悩みを語ったりできる場所である「地域子育て支援拠点」の年間の延べ利用者数。過去の推移や将来の子どもの人数などを踏まえて、利用者の増加を図り、子育て家庭の孤立化を防ぎます。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>H28</td></tr> <tr><td>29,000</td><td>36,580</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H28	H28	29,000	36,580
				目指す値	実績値					
				H28	H28					
29,000	36,580									
指標の把握方法(数値の出所) 実際の利用者数										
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>										

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成29年5月実施】

①1	子育てについて近隣同士がお互いに関心を持ち合っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	25	4.6%	4.8%	4.8
取り組んでいる	71	13.0%	13.7%	10.3
少し取り組んでいる	137	25.0%	26.4%	13.2
あまり取り組んでいない	138	25.2%	26.6%	6.6
全く取り組んでいない	148	27.1%	28.5%	0.0
無回答	28	5.1%		
総数	547	100.0%		
有効回答数	519		100.0%	34.9

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	活動場所を含めて子育てサークルへの支援を充実するとともに、子育て負担の軽減を図ります。	子育てサークル活動支援事業 【マニフェスト 39】	子育てサークルのネットワークであるいこま育児ネットの企画会・交流会の開催支援やアドバイス、育児フォーラムの開催協力、行事の広報紙への掲載支援、育児サークルへの出前保育を実施した。		子育て支援総合センター
①2	ファミリー・サポート事業における援助会員など、地域における子育て支援に関わる人材の確保に努めます。	ファミリーサポート事業	活動件数:2,652件 ・交流会(2回)、出張登録会(2回)を開催し、会員の確保に努めた。また、51件のコーディネートを行った。 ・人材育成のためのスキルアップ講座を13回開催した。		子育て支援総合センター
①3	子育てに関する相談や情報提供を行います。	各種育児相談事業	10ヶ月児・2歳6ヶ月児・3歳児育児相談を実施し、育児に関する助言を行った。また、離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。		健康課
①4	ボランティア養成講座や子育て支援に関する研修会など、誰もが子育てに興味を持ち、参加できるような機会を拡大します。	ボランティア養成講座事業	子育て支援ボランティア養成講座を6回開催し、21人が修了した。次年度からの託児ボランティア活動や、子育て支援ボランティア団体への加入を予定している。		子育て支援総合センター
①4	ボランティア養成講座や子育て支援に関する研修会など、誰もが子育てに興味を持ち、参加できるような機会を拡大します。	母子保健推進員研修会事業	健康づくり推進員対象に年2回の研修会を実施した。 また、H26に養成した託児ボランティアの活動の場を拡大した。		健康課
①5	子育て支援総合センターを整備し、ひろば事業、地域子育て支援拠点事業及びファミリー・サポート事業等を一体的に提供することで、子育て支援体制の充実を図ります。	子育て支援総合センターの整備	子育て支援総合センターの整備を行い、みつきランドをH28年4月から日曜日も開所することとした。また、ひろば事業を月齢に応じた編成に変えたことにより、切れ目のない事業実施となり子育て支援の充実を図った。		子育て支援総合センター
①6	ICTを利用した子育て支援情報の発信や子育て支援総合センター実施事業の周知を図ります。	ホームページやモバイル版での子育て支援総合センター実施事業の周知と利用利便性の向上 【マニフェスト 38】	電子版親子手帳でひろば事業や赤ちゃんの駅など子育て支援総合センター事業のお知らせ配信を行った。また、各事業の申し込みをHPから行えるようにして、市民の利便性を高めた。		子育て支援総合センター
①6	ICTを利用した子育て支援情報の発信や子育て支援総合センター実施事業の周知を図ります。	推奨児童図書の一部オープンデータ化事業 【マニフェスト 38】	図書館が作成、配布している対象年齢の異なる5種類のブックリスト掲載図書データのオープンデータ化を行う。H28年3月には2種の絵本リストを、7月には3種のよみものリストを公開した。		図書館
②1	ワークライフバランスの実現を図るために、保育サービスの充実等、多様な働き方への支援を行います。	各種保育事業	通常保育以外の延長保育、病児・病後児保育、休日保育サービスを実施し、多様な働き方への支援を行った。		こども課
②1	ワークライフバランスの実現を図るために、保育サービスの充実等、多様な働き方への支援を行います。	ワークライフバランスの普及啓発	ワークライフバランスの実現のために「働き方改革」を推進するためのシンポジウム、セミナー等で啓発を行ったほか、テレワーク&インキュベーションセンターにおいて具体的な設備を整備し、利用できる環境を整えた。		男女共同参画プラザ 経済振興課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

213子育て支援

②1	ワークライフバランスの実現を図るために、保育サービスの充実等、多様な働き方への支援を行います。	テレワークの検討	柔軟で多様な働き方を支援するため、啓発や広報、セミナーなど多方面にわたって事業展開し、生駒市の取り組みとして市民の理解を広めたほか、テレワーク&インキュベーションセンターを整備し、支援の拠点とすることでより推進していく体制を整えた。		経済振興課
②2	子育てや家庭で心配なことなどの相談事業を実施するとともに、子育てに悩む人のメンタルケアができる人材の確保に努めます。	家庭児童相談室事業	18歳未満の児童について、育児に関する相談等子どもの発達や家庭のさまざまな問題の相談を臨床心理士や社会福祉士の資格をもつ家庭相談員が対応した。来所相談以外に「ゆう子育て相談ダイヤル」による電話相談も実施した。また、家庭相談員には、さまざまな相談への対応などの研修を受講させ、スキルアップにも努めた。 相談の件数:2,618件 相談ダイヤルへの相談件数:50件		子どもサポートセンター
②3	育児教室など各種教室を行い、相談・交流の場を充実します。	各種育児教室事業	離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。また、パパママ教室参加の妊婦との交流を図り、先輩ママとして自信が持てるよう支援を行った。		健康課
②3	育児教室など各種教室を行い、相談・交流の場を充実します。	パパのための子育てイベントの開催	赤ちゃんとの関わり方や遊び方を伝えることにより、父親の子育てへの積極的な関わりを促し、父親同士の交流を図る「パパセミナー」を2期(1期3回)実施した。また、次年度の父親向け事業の検討を行った。		子育て支援総合センター
②4	事業・施設の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成し、啓発に努めます。	子育て応援パンフレット作成事業	ファミリーサポートや各事業についてのパンフレットを作成し、他課の協力を得ながら配布して子育て支援事業の周知啓発に努めた。		子育て支援総合センター
②4	事業・施設の内容、利用の仕方、実施主体などが明記されたパンフレットを作成し、啓発に努めます。	赤ちゃんの駅普及啓発事業	モデルスペースの私立幼稚園・保育園11園におむつ交換台等の整備を行った。また、登録施設募集を行い53施設を登録した。		子育て支援総合センター
②5	要保護児童対策地域協議会の強化を図り、医療機関・保健機関・教育機関等、地域の関係機関との連携を深めて、児童虐待の防止の啓発・発生予防・早期発見に努めます。	要保護児童対策地域協議会事業 【マニフェスト 40】	要保護児童対策地域協議会代表者会議を2回、オレンジリボンキャンペーンをH28年11月、実務者会議を月2回(年24回)、個別ケース検討会議を291回、受理会議を37回行い、また、要請に応じて民生児童委員、学童指導員、幼稚園教員などを対象に児童虐待についての研修を実施し、関係機関との連携強化及び市民への児童虐待の早期発見の啓発を行った。		子どもサポートセンター
②6	児童虐待等防止啓発事業を促進します。	CAP子どもワークショップ・おとなワークショップ 【マニフェスト 40】	CAP子どもワークショップ、おとなワークショップを5か所で開催した。		子どもサポートセンター
②7	ひとり親家庭の生活の安定を図るため、経済的な支援を行うとともに、自立支援を促進します。	自立支援事業	ひとり親家庭の自立を支援するため、高等職業訓練促進費を15世帯に支給した。		子ども課
②8	子育て世代のニーズ調査を行い、ニーズに即したサービスの提供を図ります。	子ども・子育て支援事業計画策定事業	子ども・子育て会議を3回開催し、地域子ども子育て支援事業計画の進行管理を行った。		子ども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	64.5	B	子育ての不安を少しでも軽減し、また親子の孤立化を防ぎ、楽しく子育てできるよう、様々なつながりができるようなかたちでのひろば事業や、拠点事業、子育てプログラム、養育支援訪問事業を実施した。健康課、こども課、子育て支援総合センターが連携をとりながら、それぞれの家庭の事情に応じたきめ細やかな対応をし、必要な家庭に対しては、子育て相談に繋げ、児童虐待予防にも効果をあげていると考える。また、地域子育て支援拠点であるみつきランドの開所日を日曜日まで拡大し天候や曜日にかかわらずいつでも利用できるようにし、子育て支援体制の充実を図った。以上の進捗状況を踏まえ、進捗度Bと判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	34.9		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	1	幼稚園教育
4年後のまち	①	幼稚園、保育園、学校、家庭及び地域の連携のもと、幼児一人ひとりの発達の特徴を活かした就学前教育が進んでいる。
	②	幼児たちがのびのびと学び育つ安全・安心な環境が整えられている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成29年5月実施】

設問① 幼稚園、保育園、学校、家庭及び地域の連携のもと、幼児一人ひとりの発達の特徴を活かした就学前教育が進んでいる。					設問② 幼児たちがのびのびと学び育つ安全・安心な環境が整えられている。					
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価		
そう思う	34	6.2%	9.0%	9.0	そう思う	69	11.8%	14.6%	14.6	
どちらかというとそう思う	141	25.8%	37.3%	28.0	どちらかというとそう思う	202	34.4%	42.7%	32.0	
どちらとも言えない	142	26.0%	37.6%	18.8	どちらとも言えない	162	27.6%	34.2%	17.1	
どちらかというとそう思わない	44	8.0%	11.6%	2.9	どちらかというとそう思わない	31	5.3%	6.6%	1.6	
そう思わない	17	3.1%	4.5%	0.0	そう思わない	9	1.5%	1.9%	0.0	
わからない	158	28.9%			わからない	108	18.4%			
無回答	11	2.0%			無回答	6	1.0%			
総数	547	100.0%			総数	587	100.0%			
有効回答数	378		100.0%	58.7	有効回答数	473		100.0%	65.4	
					全設問の平均					62.0

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向							
①	幼稚園と小・中学校との連携事業数(件)	幼稚園(全9園)と小・中学校が相互に訪問し、体験入学や遊びなどを通じて交流する事業の件数。小学校への移行が円滑に行われ、安心して学校生活が送れるよう、平成29年度には1園当たり12事業以上の連携を目指します。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>H28</td></tr> <tr><td>103</td><td>118</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H28	H28	103	118
				目指す値	実績値					
H28	H28									
103	118									
担当課 教育指導課・こども課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所) 幼稚園・小中学校からの実施報告								
②	市立幼稚園の耐震化率(%)	2階建て又は200㎡以上の建物の棟数に対して耐震基準を満たしている棟数の割合。園児の安全を確保するため、計画的に耐震化を進めます。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>H28</td></tr> <tr><td>90</td><td>90</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H28	H28	90	90
				目指す値	実績値					
H28	H28									
90	90									
担当課 こども課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所) 施設台帳からの調査結果								

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成29年5月実施】

①2	保護者は、自らの役割を自覚し、よりよい家庭教育を進めている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	35	6.0%	25.7%	25.7
取り組んでいる	45	7.7%	33.1%	24.8
少し取り組んでいる	35	6.0%	25.7%	12.9
あまり取り組んでいない	6	1.0%	4.4%	1.1
全く取り組んでいない	15	2.6%	11.0%	0.0
無回答	129	22.0%		
該当しない	322	54.9%		
総数	587	100.0%		
有効回答数	136		100.0%	64.5

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	就学前教育の充実を図るため、幼稚園と保育園、学校との連携を図り、国の動向や地域の状況等を踏まえ、こども園の開設に向けた取組を行います。	(仮称)南こども園開設事業【マニフェスト 47】	就学前教育の充実を図るため、幼稚園と保育所の良いところを活かしながら、教育・保育を一体的に行うため、南こども園を新築し、H28年4月1日に開園した。		こども課
①1	就学前教育の充実を図るため、幼稚園と保育園、学校との連携を図り、国の動向や地域の状況等を踏まえ、こども園の開設に向けた取組を行います。	(仮称)高山認定こども園【マニフェスト 47】	(仮称)高山認定こども園開園に向け、連絡会や交流会を実施した。 ・職員連絡会 7回 ・園児交流会 6回 ・行事交流 12回 ・園内研の交流 4回		こども課
①2	私立幼稚園、保育園との連携を深め、最新の知見を踏まえた教員研修等を合同で実施します。	生駒市幼稚園教育研究会	年4回の研修の場を持ち、職員の資質向上に努めた。 また、公私立合同園長会を学期に1回開催するとともに研修会も実施した。		こども課
①3	幼稚園・小学校・中学校・保育園の意見交換を積極的に行います。	保幼小中交流学習会	幼小の職員連絡会を実施したり、幼保の研修会、園内教育研究会に参加しあうなど、意見交換の場を持った。		こども課
①3	幼稚園・小学校・中学校・保育園の意見交換を積極的に行います。	保幼小中交流学習会	地域ぐるみの児童生徒健全育成推進事業の一環として、保・幼・小・中学校の教職員が学ぶ場を、年に1度実施した。 H28年8月30日に「自殺予防ゲートキーパー研修」を演題として、帝塚山大学の神澤創氏による講演を実施した。		教育指導課
①4	家庭教育学級を充実し、保護者へ子育てに関する情報提供を行います。	家庭教育学級事業	家庭教育学級の開設学級数:9学級 開催数:46回 参加人数:1224人		生涯学習課
①5	アンケート調査など保護者や市民の意見を把握し、ニーズに合った就学前教育を実施します。	学校評価推進事業	幼稚園運営について自己評価を行い、その結果を公表した。また学校関係者評価委員会を設置し、アンケートや自己評価結果を基に学校関係者評価を受け、その公表に努めるとともに、その後の幼稚園経営計画の改善に役立てた。		こども課
①6	学校評議員会等を充実するとともに、学校関係者評価を実施し、自己評価の結果を公表します。	学校評議員会	学校評議員会を各園3回開催した。 学校関係者評価公表率:100%		こども課
①7	スクールボランティアが活動できる範囲を拡大します。	スクールボランティア活動の拡充	地域の人たちに、自分の“得意”を生かして積極的に幼稚園に関わってもらい、地域と幼稚園の相互協力、連携の充実・強化を図った。		こども課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

221幼稚園教育

②1	幼児の安全を確保するため、園舎の耐震化を進めるとともに、施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。	園舎の施設整備事業	委託による点検のほか、職員による園舎・園庭・遊具等の安全点検を月1回実施した。 施設の安全のための改修 ・俵口幼稚園遊具取替 ・俵口幼稚園園庭フェンス取替 ・あすか野、生駒幼稚園換気扇取替 ・あすか野・桜ヶ丘・老分幼稚園トイレ改修工事設計業務		こども課
②1	幼児の安全を確保するため、園舎の耐震化を進めるとともに、施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。	生駒台幼稚園改築事業	・H22に実施した耐震診断の結果改築が必要となったことから、園舎の改築工事を実施した。 ・構造・規模 2階建て鉄骨構造 保育室10室 遊戯室1室 職員室、会議室各1室 ・H27年9月から新園舎で園運営を開始した。		こども課
②2	就学前教育の取組を分かりやすく公表します。	子育て支援事業	市ホームページ、園だより、地域の回覧板等で、幼稚園の教育活動全般について、保護者や地域に広く情報を提供した。		こども課
②3	市立幼稚園の預かり保育について、実施園の拡大や運営方法、運営時間等を改善し、市民ニーズに一層応える効果的な運営を進めます。	市立幼稚園における預かり保育 【マニフェスト 35】	南こども園の幼稚園児について、預かり時間を7:30～18:30に延長するとともに、三期休業中も利用可能とした。 また、全園で預かりの要件をなくしたことにより、利用者が倍増した。		こども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	62.0	B	南こども園の預かり保育時間の延長、公立全幼稚園で預かり保育の要件を廃止したことにより、市民実感度が更に上昇したと考えられる。 園舎、園庭、遊具等の安全点検については、専門業者に委託するだけでなく職員でも月1回行った。今後は、地域住民や保護者の意見も更に取り入れ、安心・安全な学びの場の整備に取り組む必要がある。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	64.5		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	2	学校教育
4年後のまち	①	児童生徒が安心して楽しく学ぶことができる環境が整えられている。
	②	子どもの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識をはぐくみ、心の教育が充実している。
	③	市民・地域・事業者・行政が連携して、開かれた学校づくりが進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成29年5月実施】

設問①	児童生徒が安心して楽しく学ぶことができる環境が整えられている。				設問②	子どもの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識をはぐくみ、心の教育が充実している。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	79	14.6%	18.3%	18.3	そう思う	28	5.1%	7.7%	7.7
	どちらかというと思う	177	32.7%	41.0%	30.7	どちらかというと思う	103	18.8%	28.4%	21.3
	どちらとも言えない	141	26.0%	32.6%	16.3	どちらとも言えない	180	32.9%	49.6%	24.8
	どちらかというと思わない	20	3.7%	4.6%	1.2	どちらかというと思わない	39	7.1%	10.7%	2.7
	そう思わない	15	2.8%	3.5%	0.0	そう思わない	13	2.4%	3.6%	0.0
	わからない	106	19.6%			わからない	173	31.6%		
	無回答	4	0.7%			無回答	11	2.0%		
	総数	542	100.0%			総数	547	100.0%		
	有効回答数	432		100.0%	66.5	有効回答数	363		100.0%	56.5
設問③	市民・地域・事業者・行政が連携して、開かれた学校づくりが進んでいる。									
	回答	件数	比率	得点評価						
	そう思う	55	9.4%	12.6%	12.6					
	どちらかというと思う	153	26.1%	35.2%	26.4					
	どちらとも言えない	176	30.0%	40.5%	20.2					
	どちらかというと思わない	38	6.5%	8.7%	2.2					
	そう思わない	13	2.2%	3.0%	0.0					
	わからない	146	24.9%							
	無回答	6	1.0%							
	総数	587	100.0%							
	有効回答数	435		100.0%	61.4					
	全設問の平均				61.5					

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
①	教育相談室等の相談件数(件)	教育相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの学校や保護者からの相談件数。年間各学校あたり2件程度の向上を目指します。		
担当課	教育指導課		目指す値	実績値
			H28	H28
			3,060	3,194
			指標の把握方法(数値の出所)	
			教育相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの相談件数	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>	

②	1日30分以上読書をしている児童生徒の割合(%)	1日当たり30分以上読書をしている小・中学生の割合。 小中学校に配置している学校図書館司書を活用して読み聞かせやブックトークを行い、読書の楽しさを伝え読書活動を推進します。	<table border="1"> <caption>読書率推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>29.9</td><td>30.9</td></tr> <tr><td>H22</td><td>31.1</td><td>31.1</td></tr> <tr><td>H23</td><td>27.1</td><td>27.1</td></tr> <tr><td>H24</td><td>28.6</td><td>28.6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>33.3</td><td>33.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>34.0</td><td>33.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>34.7</td><td>33.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>35.3</td><td>30.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>36.0</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>36.7</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	H21	29.9	30.9	H22	31.1	31.1	H23	27.1	27.1	H24	28.6	28.6	H25	33.3	33.3	H26	34.0	33.0	H27	34.7	33.1	H28	35.3	30.3	H29	36.0		H30	36.7		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>H28</td></tr> <tr><td>35.3</td><td>30.3</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H28	H28	35.3	30.3
	年度	目標値		実績値																																							
H21	29.9	30.9																																									
H22	31.1	31.1																																									
H23	27.1	27.1																																									
H24	28.6	28.6																																									
H25	33.3	33.3																																									
H26	34.0	33.0																																									
H27	34.7	33.1																																									
H28	35.3	30.3																																									
H29	36.0																																										
H30	36.7																																										
目指す値	実績値																																										
H28	H28																																										
35.3	30.3																																										
担当課		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: ■有 □無> 単年度実施の全国学力・学習状況調査の結果を指標としているため、調査対象の画一化が図れていない。今後週3日学校司書を各校に配置したことによる成果が見られるように努めていきたい。	指標の把握方法(数値の出所) 全国学力・学習状況調査の結果																																								
③	学校創造推進事業の実施回数(回)	学校が、その道の達人と呼ばれる地域の方や保護者の支援を受けて特色ある教育活動を実施した合計回数。 栽培活動や茶道の指導、動物の飼育などを通した命の教育を行います。	<table border="1"> <caption>学校創造推進事業実施回数推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>1,418</td><td>1,418</td></tr> <tr><td>H22</td><td>1,235</td><td>1,235</td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,656</td><td>1,656</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,529</td><td>1,529</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,711</td><td>1,711</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,603</td><td>1,718</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,640</td><td>1,815</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,677</td><td>1,741</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,714</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,751</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	目標値	実績値	H21	1,418	1,418	H22	1,235	1,235	H23	1,656	1,656	H24	1,529	1,529	H25	1,711	1,711	H26	1,603	1,718	H27	1,640	1,815	H28	1,677	1,741	H29	1,714		H30	1,751		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>H28</td></tr> <tr><td>1,677</td><td>1,741</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H28	H28	1,677	1,741
	年度	目標値		実績値																																							
H21	1,418	1,418																																									
H22	1,235	1,235																																									
H23	1,656	1,656																																									
H24	1,529	1,529																																									
H25	1,711	1,711																																									
H26	1,603	1,718																																									
H27	1,640	1,815																																									
H28	1,677	1,741																																									
H29	1,714																																										
H30	1,751																																										
目指す値	実績値																																										
H28	H28																																										
1,677	1,741																																										
担当課		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: □有 □無>	指標の把握方法(数値の出所) 本事業における学校からの実施報告																																								

3 市民の役割分担(市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成29年5月実施】

①3	児童・生徒の登下校の時間に合わせた道路掃除、散歩、買い物等による子どもたちの見守り活動を行っている。		
回答	件数	比率	得点評価
十分取り組んでいる	19	3.5%	3.6%
取り組んでいる	42	7.7%	8.1%
少し取り組んでいる	96	17.7%	18.4%
あまり取り組んでいない	125	23.1%	24.0%
全く取り組んでいない	239	44.1%	45.9%
無回答	21	3.9%	
総数	542	100.0%	
有効回答数	521	100.0%	24.9

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題(ある場合のみ)	担当課
①1	社会で活躍できる人材の育成を目指して、教育活動を一層発展させていきます。	社会で活躍できる人材育成のための施策について総合教育会議での協議【マニフェスト 42】	総合教育会議を3回開催し、意見交換を行った。教育大綱をH28年6月に策定し、それに基づくアクションプランを8月に策定した。アクションプランについてはPDCAサイクルによる点検評価を実施した。		教育指導課
①2	児童生徒一人ひとりの確かな学力の育成のため、個に応じた指導が行えるよう、市独自の少人数学級編成の対象学年の拡大の検討、学びのサポーターの拡充など、多様な教育活動を展開します。	学びのサポーター派遣事業	学びのサポーター授業援助、学力補充で3,633時間実施した。		教育指導課
①3	「体力向上推進プラン」に基づき、授業や行事を工夫し児童生徒の体力向上を進めます。	体力向上推進プランの推進	全ての小中学校で、全国体力運動能力・運動習慣等調査の結果から児童生徒の実態を分析し、改善に向けた取組プランを策定し、プランに基づいて実施した。		教育指導課
①4	安全・安心な教育環境を整備するため、学校施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。	学校施設整備事業	あすか野小学校本館屋上防水改修工事、生駒南・真弓小学校、光明中学校高圧受電設備改修工事等の改修工事を実施した。		教育総務課
①5	保護者への子育てに関する情報を提供し、相談体制を充実します。	教育相談室業務の周知	いじめや不登校等の子育て上の悩みなどについて、子どもや保護者の相談を実施した。 相談件数: 1,283件		教育指導課
①6	スクールアドバイザーを活用し、いじめや暴力行為等の課題の改善に取り組みます。	スクールアドバイザー事業	いじめなどの問題に学校が適切に対応できるよう専門家の支援を即時に受けられる体制を整えた。 弁護士から教育委員会への助言を5回、警察からは随時助言を受けた。		教育指導課

①7	食育を推進します。	給食指導、食育学習の充実	家庭科の学習での食育学習を実施。また、給食指導を通じて好き嫌いをなく食べることの大切さを指導。給食残量調査の結果から学校独自に取組目標を設定するなどした。	教育指導課
①7	食育を推進します。	給食指導、食育学習の充実	給食時間を利用して、栄養教諭等がワンポイント指導を実施した。 (各小学校:各学期毎に1回実施。 各中学校:1・2学期に各1回実施。) 3学期においては、全小学校への学校訪問時に調理員も参加することにより、給食をつくる側と食べる側のコミュニケーションをとることが出来、食育の推進につながった。	学校給食センター
①8	学校給食を通じて、正しい栄養や食事のとり方などについて知識啓発を行います。	食に関する啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全ての小学1年生を対象に、栄養教諭等が「きゅうしよくのひみつ」をテーマとして給食センターで給食が出来る様子について指導を実施した。 全ての小学4年生を対象に、栄養教諭等が「丈夫な体は丈夫な骨から」をテーマに、成長期の子どもに必要なカルシウムの働きを指導した。 「食に関する指導」の掲示物や、給食時間に児童生徒が校内放送で読み上げる給食や食に関する「放送原稿」を作成し、各小中学校に配布した。 保護者を対象とした見学試食会や学校保健食育委員会等の際に、栄養教諭等が学校給食や児童生徒の食に関する啓発を行った。 	学校給食センター
①9	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	生駒北小中一貫校(仮称)推進事業(高山スーパーバススクールゾーン構想) 【マニフェスト 46】	平成28年度末に校舎建設工事、関連工事を完了した。境界確定業務についても、概ね完了するとともに、生駒北小学校の校舎等解体工事に着手した。	教育総務課
①9	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	生駒北小中一貫校(仮称)推進事業(高山スーパーバススクールゾーン構想) 【マニフェスト 46】	小中一貫教育準備会議を1回開催した。学校の取組、新校舎建築工事の進捗状況を報告し、通学路など今後の課題を確認した。	教育指導課
①9	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	9年間を見通した教育課程の作成 【マニフェスト 46】	いくつかの教科で小学校の教員が中学校の授業を教え、中学校の教員が小学校の授業を教える乗り入れ授業を実施し、体験学習などで特色ある教育課程を作成し、小中一貫教育を推進した。	教育指導課
①9	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	奈良先端科学技術大学院大学との連携事業 【マニフェスト 46】	中学校3校で先端大における特別授業を実施し、中学校5校で先端大教員、院生による出前授業を実施した。	教育指導課
①10	市内小中学校クラブ活動及び部活動などの練習環境・発表の場などの支援を行います。	小中学校クラブ活動及び部活動の練習環境・活動の場の支援事業 【マニフェスト 52】	クラブ活動、部活動の活性化を目標として、外部指導者を中学校6校に派遣した。	教育指導課・関係課
①11	全小中学校の省エネルギー化を目指した取組を行います。	鹿ノ台中学校スーパーエコスクール実証事業	平成27年度をもって実証事業に係る工事は完了している。学校において整備した設備等を活用した環境教育が実施された。	教育総務課
①11	全小中学校の省エネルギー化を目指した取組を行います。	エコボナナスの実施	H27の幼稚園、小中学校の電気使用量の削減実績額に応じて、H28の備品購入費として各学校・園に予算を配当した。	教育指導課
①12	学校設備を使いやすく、きれいで、明るく、快適なものにします。	学校トイレ改修事業 【マニフェスト 45】	真弓・生駒台・生駒南第二小学校の設計業務を3月末までに完了した。工事については、国の補助金採択が年度途中となったことから、28年度実施予定の工事を29年度に繰り越して実施することとなった。	教育総務課
①12	学校設備を使いやすく、きれいで、明るく、快適なものにします。	全教室へのエアコンの導入検討 【マニフェスト 48】	H28も引き続き学校設備のうちトイレ改修を優先的に実施した。	教育総務課
①13	建物の長寿命化を考慮した老朽化対策を行います。	桜ヶ丘小学校施設老朽化対策先導事業	H28年10月に北館及び昇降口棟の老朽化対策工事を完了した。	教育総務課
①14	学校給食センターの更新に向けて、運営方法、施設設備及びアレルギー対応などについて検討を進めます。	学校給食センター更新の検討 【マニフェスト 49】	(仮称)生駒北学校給食センターの整備運営について、PFI(BTO)方式を採用することを決定した。また、整備運営事業者を決定する為のアドバイザー業務の委託事業者をプロポーザル方式で決定し、(仮称)生駒北学校給食センター整備運営事業者選定委員会の調査審議をへて、実施方針、入札説明書等を作成することが出来た。	学校給食センター

①14	学校給食センターの更新に向けて、運営方法、施設設備及びアレルギー対応などについて検討を進めます。	給食センターの新設に関する懇話会開催 【マニフェスト 49】	・学識経験者や保護者代表・校長会代表等が参加する学校給食センター更新懇話会を4回開催し(仮称)生駒北学校給食センターの整備に関する意見や助言を受けた。 ・(仮称)生駒北学校給食センターで実施するアレルギー対応については、乳・卵・エビ・カニの除去食とする方針が決定した。 ・懇話会参加者、北小校区自治会代表と一緒に枚方市立第一学校給食共同調理場を視察した。	学校給食センター
②1	教職員の資質や能力の向上を図り、子どもたちの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識を伸ばす特色ある教育を行います。	教職員研修	市教委主催研修会を22回開催した。 参加教員延べ:1,492人	教育指導課
②2	朝の読書活動や学校図書館の整備、充実を図り、児童生徒の感性を高め、豊かな人間性を涵養します。	学校図書館司書派遣事業	H28から、全小中学校に週3日学校司書を配置し、ブックトークや読み聞かせなどの取組を行った。	教育指導課
②3	伝え合う力の育成の一環として、小学校3年生から外国語活動に取り組みます。	外国語指導助手派遣事業	小中学校への外国語指導助手配置日数:917日 小学校への地域人材配置時間数:804時間	教育指導課
②4	適応指導教室の運営により、不登校児童・生徒の学校生活への復帰を支援するためのカウンセリング、教科指導、集団生活への適応指導等を計画的に実施します。	適応指導教室指導員	欠席日数150日以上の不登校児童生徒数に占める適応指導教室通室生の割合:49%	教育指導課
②5	学校が各界で活躍する方(経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか)を招き、子どもたちに夢を与える講演会等を実施します。	夢を与える講演会・学校創造推進事業等 【マニフェスト 43】	あこがれ“いこまびと”事業として、大学院教授、オリンピック銀メダリストの講演会を実施した。また、学校創造推進事業として、地域の方々との交流の機会を増やし、各校で特色のある体験学習等を実施した。 実施回数:1,743回	教育指導課
③1	地域ぐるみの児童生徒健全育成事業を通じて小・中学校を支援する取組を行います。	地域ぐるみの児童生徒健全育成事業	地域と連携して児童生徒の健全育成と安全安心な環境づくりを推進する。 校区委員会独自の事業 7回、校区推進委員会21回、いじめ、子育てをテーマとした講演会実施。交流発表会を実施した。	教育指導課
③2	スクールボランティアなど地域の教育力を活用した取組を充実します。	スクールボランティア活動の拡充	地域の方や保護者を中心に、登下校時の見守り活動や学校行事の手伝い、授業・クラブ活動の補助など、多分野にわたりスクールボランティア活動を実施した。	教育総務課
③3	ホームページ等を通して学校運営や児童生徒の様子を公表します。	ホームページの運営	小中学校で学校教育目標や日々の教育活動をホームページで公表し、開かれた学校づくりに努めた。	教育指導課
③4	学校評価を進めていくために、学校評価シートを効果的に活用します。	学校評価の充実	学校評議員会等を充実するとともに、学校関係者評価を実施し、自己評価の結果を公表した。 学校評議員会開催回数:56回 新評価総括表による学校評価の実施率:100% 学校関係者評価公表率:100%	教育指導課
③5	多様な意見の反映や、時代の変化に応じた教育施策の展開など、市全体の教育力向上を図るため、教育委員を市民から公募します。	教育委員の市民公募 【マニフェスト 41】	H27年度に実施済み。	教育総務課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	61.5	B	H28年6月に教育大綱を策定し、それに基づくアクションプランを8月に策定し、PDCAサイクルによる点検評価を実施した。「21世紀を生き抜く優しくたくましい人づくり」に向け、小学1年生からALTによる英語活動を実施した。また2校でICT機器活用モデル校事象としてICT機器を使用したグループ学習等の授業研究と研究発表を実施した。部活動への外部指導者の派遣や地域出身者の講演会を実施し、児童生徒が未来への夢を創造できる取組を推進した。学校では、授業研究を通して研修を進め、読書活動の推進、心の教育、食育学習の充実を図っている。学校施設の整備では、老朽化対策やトイレ改修等、計画的に取組を進めている。さらに、地域ぐるみの活動を中心に、市民・地域・行政が協力した学校支援体制も整っている。 以上のとおり、それぞれの施策が順調に成果を上げてきていることから、進捗度Bと判断した。
指標	目標値を達成している指標が多い		
市民の役割分担	24.9		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	3	特別支援教育
4年後のまち	①	特別支援体制の充実により一人ひとりの発達段階に応じた教育が行われている。
	②	読み書きやコミュニケーション等で困っている幼児・児童・保護者に通級指導等を実施し、通級者の社会適応能力が高まっている。
	③	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者に対して、専門的な相談員等による教育相談が行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成29年5月実施】

設問①	教育支援体制の充実により一人ひとりの発達段階に応じた教育が行われている。				設問②	読み書きやコミュニケーション等で困っている幼児・児童・保護者に通級指導等を実施し、通級者の社会適応能力が高まっている。			
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価
	そう思う	54	10.0%	14.1		そう思う	39	7.1%	12.0
	どちらかというと思う	104	19.2%	20.4		どちらかというと思う	108	19.7%	25.0
	どちらとも言えない	154	28.4%	20.2		どちらとも言えない	141	25.8%	21.8
	どちらかというと思わない	50	9.2%	3.3		どちらかというと思わない	28	5.1%	2.2
	そう思わない	20	3.7%	0.0		そう思わない	8	1.5%	0.0
	わからない	155	28.6%			わからない	214	39.1%	
	無回答	5	0.9%			無回答	9	1.6%	
	総数	542	100.0%			総数	547	100.0%	
	有効回答数	382		58.0		有効回答数	324		61.0
設問③	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者に対して、専門的な相談員等による教育相談が行われている。								
	回答	件数	比率	得点評価					
	そう思う	50	8.5%	13.8					
	どちらかというと思う	114	19.4%	23.6					
	どちらとも言えない	162	27.6%	22.3					
	どちらかというと思わない	28	4.8%	1.9					
	そう思わない	9	1.5%	0.0					
	わからない	218	37.1%						
	無回答	6	1.0%						
	総数	587	100.0%						
	有効回答数	363		61.6					
	全設問の平均				60.2				

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
①	特別支援教育支援員等の各校園への配置率(%)	幼稚園9園、小学校12校、中学校8校に対する特別支援教育支援員の配置校の割合。 学校・園の要望を受けて、平成30年度には全ての幼稚園、小学校と中学校6校に配置を目指します。		
	担当課		目指す値	実績値
	教育指導課		H28	H28
			92.4	96.6
			指標の把握方法(数値の出所)	
			市による特別支援教育支援員配置学校数	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	

②	ことばの教室・通級指導教室エルへの通級者数(人)	読み書きやコミュニケーションなどで困っている子どもたちを支援するための教室への通級者数。 通級者が社会への適応能力を高めることを目指します。		目指す値	実績値
				H28	H28
担当課				140以上	157
教育指導課				指標の把握方法(数値の出所)	
				当該施設からの報告	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
③	特別支援教育相談員等による相談件数(件)	教育支援施設等における特別支援教育相談及び就学前教育相談の件数。 専門相談員による指導で、特別支援教育の充実を図ります。		目指す値	実績値
				H28	H28
担当課				145以上	160
教育指導課				指標の把握方法(数値の出所)	
				市教委で受け付けた相談希望件数	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

3 市民の役割分担 (市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成29年5月実施】

①1	特別支援教育を理解し、その教育に協力している。				
	回答	件数	比率	得点評価	
	十分取り組んでいる	11	2.0%	2.1%	2.1
	取り組んでいる	40	7.3%	7.7%	5.7
	少し取り組んでいる	110	20.1%	21.1%	10.5
	あまり取り組んでいない	143	26.1%	27.4%	6.8
	全く取り組んでいない	218	39.9%	41.8%	0.0
	無回答	25	4.6%		
	総数	547	100.0%		
	有効回答数	522	100.0%		25.2

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題 (ある場合のみ)	担当課
①1	特別支援教育コーディネーターの養成、資質向上に向け、市独自の研修に努めます。	特別支援教育コーディネーター研修	月に1回研修を実施し、参加のコーディネーターが学校で研修内容を共有している。県特別支援教育巡回アドバイザー等を講師に招き、現場のケースについて具体的な対応策を検討するなどしている。各校園で個別の支援計画作成のための研修会を行った。		教育指導課
①2	特別支援教育支援員の募集を市の広報紙及びホームページを通じて行い、市民から採用します。	特別支援教育支援員募集	市ホームページで広く募集し、教育指導課のリストに登録し、学校が要望する人材をそのリストから随時配置した。		教育指導課
①3	特別支援教育支援員を適切に配置し、特別な支援を要する児童・生徒へのきめ細やかな配慮をします。	特別支援教育支援員配置【マニフェスト 44】	指導課のリストに登録している人材の中から学校が要望する人材を選択し、随時配置を行った。 小中学校合計配置日数:3,661日		教育指導課
①3	特別支援教育支援員を適切に配置し、特別な支援を要する児童・生徒へのきめ細やかな配慮をします。	学びのサポーター配置【マニフェスト 44】	学びのサポーター(学生)を募集し、教育指導課に登録の上、小中学校に派遣し、特別な支援が必要な児童生徒の支援にあたった。 小中学校合計配置時間:3,633時間		教育指導課
①4	障がい者教育の専門家と提携し、特別支援教育に関わる教員の資質・能力の向上・啓発を図ります。	特別支援教育講演会	夏期休業中にすべての小中学校教員を対象に特別支援教育講演会を実施した。奈良県立教育研究所特別支援教育部の森由香氏を招き、障害者差別解消法について研修を行った。		教育指導課

①4	障がい者教育の専門家と提携し、特別支援教育に関わる教員の資質・能力の向上・啓発を図ります。	特別支援教育相談 【マニフェスト 21】	元県立特別支援学校長、臨床心理士による相談体制を整え、児童生徒、その保護者、担当教員を対象に実施した。 相談件数:86件	教育指導課
①4	障がい者教育の専門家と提携し、特別支援教育に関わる教員の資質・能力の向上・啓発を図ります。	特別支援教育研修 【マニフェスト 21】	夏期休業中にすべての小中学校教員を対象に特別支援教育講演会を実施した。奈良県立教育研究所特別支援教育部の森由香氏を招き、障害者差別解消法について研修を行った。	教育指導課
①5	タブレットなど、ICT技術を活用した療育・学習支援や機能回復・改善のさらなる強化をします。	特別支援学級、ことばの教室、院内学級在籍児童生徒への学習支援用タブレット配備事業 【マニフェスト 20】	H27から継続して、H28も全ての小中学校にタブレットを1台ずつ配置し、使用に関する研修を行った。	教育指導課
②1	幼児・児童・生徒が主体的に取り組めるような指導・支援内容を工夫・検討するとともに、情報提供を行います。	ことばの教室・通級指導教室エル	通常学級に在籍する発達障害等のある児童生徒や保護者、担当する指導者の相談を実施した。	教育指導課
②2	スクールボランティアを募集し、特別に支援が必要な児童生徒の学習補助を行います。	スクールボランティア募集	地域の方や保護者を中心に、授業の補助など、多分野にわたり活動を実施した。	教育総務課
③1	教育相談に応じるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援施設の教育相談員を適切に配置し、活用します。	スクールカウンセラー配置	全ての小学校と中学校5校に配置。すべての中学校に、県のスクールカウンセラーを配置した。 相談件数:1,911件	教育指導課
③2	特別支援教育相談事業についての専門相談員の充実を図ります。	特別支援教育相談	元県立特別支援学校長、臨床心理士による相談体制を整え、児童生徒、その保護者、担当教員を対象に実施した。 相談件数:86件	教育指導課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	60.2	B	市の特別支援教育は、特別支援教育相談、就学前教育相談による個別相談が充実し成果を上げている。また、発達障害等、特別な支援を要する児童生徒に対し特別支援教育支援員や学びのサポーターを配置し学習や活動の支援を行っている。さらに、児童生徒、保護者、指導者に対する支援・相談体制も充実している。特別支援教育コーディネーター研修では個別の支援計画作成のための研修や特別支援在籍児童生徒の学習支援用タブレットの使用に関する研修を実施し、学校での児童生徒への合理的配慮や支援体制の充実に向け、取組を進めている。また、以前より課題とされた市民に対する市の特別支援教育の内容の周知も、徐々に広まっていると考える。今後、ことばの教室、通級指導教室の受け入れ枠の増加や特別支援教育支援員の更なる充実という課題もあるが、総合的に順調に推移していると考え。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	25.2		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	3	生涯学習の推進
基本施策	1	生涯学習
4年後のまち	①	だれでも自由に学習できる環境が整備され、生きがいや楽しさを感じている市民が増えている。
	②	生涯学習の成果が地域社会に還元される機会が増えている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成29年5月実施】

設問①	だれでも自由に学習できる環境が整備され、生きがいや楽しさを感じている市民が増えている。				設問②	生涯学習の成果が地域社会に還元される機会が増えている。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	57	10.5%	13.3%	13.3	そう思う	24	4.4%	6.2%	6.2
	どちらかというと思う	148	27.3%	34.6%	25.9	どちらかというと思う	114	20.8%	29.6%	22.2
	どちらとも言えない	161	29.7%	37.6%	18.8	どちらとも言えない	188	34.4%	48.8%	24.4
	どちらかというと思わない	40	7.4%	9.3%	2.3	どちらかというと思わない	41	7.5%	10.6%	2.7
	そう思わない	22	4.1%	5.1%	0.0	そう思わない	18	3.3%	4.7%	0.0
	わからない	109	20.1%			わからない	153	28.0%		
	無回答	5	0.9%			無回答	9	1.6%		
	総数	542	100.0%			総数	547	100.0%		
	有効回答数	428		100.0%	60.4	有効回答数	385		100.0%	55.5
							全設問の平均		58.0	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
①	市民1人当たりの図書貸出冊数(冊)	図書の年間貸出冊数/総人口。市民の学習意欲を示す数値の一つであり、図書サービスや利便性の向上を図り、市民1人あたりの貸出冊数の増加を目指します。		H28	H28
				11.8	10.2
担当課	図書館	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> 本館が冷暖房機器改修工事のため約1ヶ月半休館した影響がある。	指標の把握方法(数値の出所) 図書館統計	
②1	自主学習グループによる市民向け学習会の開催回数(回)	自主学習グループが広く市民を対象に実施する学習会の開催回数。生涯学習の成果の社会還元化、ボランティア意識の高まりが数値として表れますが、現状においても活動が活発に行われていることから、開催回数の増加を目指します。		H28	H28
				242	209
担当課	生涯学習課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所) 広報掲載件数	
②2	生涯学習まちづくり人材バンク活用件数(件)	専門的な知識や経験、技能等を生涯学習のまちづくりに活かすための人材登録制度の活用件数。活発に制度が活用されていることから、活用件数の増加を目指します。		H28	H28
				420	490
担当課	生涯学習課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所) まちづくり人材バンク活動支援報告書	

<補助指標>

No.	補助指標名	この補助指標について	補助指標の動向		
②1	自主学習グループによる施設訪問、ボランティア活動件数(回)	生涯学習の成果の社会還元化、ボランティア意識の高まりを表す数値として、市民向け学習会以外に、自主学習グループが実施する学校や高齢者福祉施設などの施設訪問件数、ボランティア活動件数。		目指す値	実績値
担当課	生涯学習課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由		H28	H28
生涯学習課			225	230	
			指標の把握方法(数値の出所)		
			学校や高齢者福祉施設などの施設訪問件数、ボランティア活動件数の合計		
			<外的要因の有無: □有 □無>		

3 市民の役割分担(市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成29年5月実施】

回答	件数	比率	得点評価
①1 生涯学習の必要性和目的を理解し、積極的に生涯学習活動を行っている。			
十分取り組んでいる	23	3.9%	4.0
取り組んでいる	69	11.8%	9.0
少し取り組んでいる	93	15.8%	8.1
あまり取り組んでいない	146	24.9%	6.3
全く取り組んでいない	244	41.6%	0.0
無回答	12	2.0%	
総数	587	100.0%	
有効回答数	575	100.0%	27.4

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題(ある場合のみ)	担当課
①1	学習機会を紹介・案内するため情報提供を行うとともに、気軽に学習活動が楽しめる工夫やノウハウ等の情報を提供します。	生涯学習情報の提供	広報紙、市ホームページ、ツイッター等を通じて、市民へ学習機会のPRを行った。		生涯学習課
①2	いこま寿大学を充実するとともに、OB会の活動を支援します。	高齢者教育推進事業	OB会については、地域活動の事業の提案等を求め、社会貢献の機会を増やしていただくため、今後、市として広報の掲載等により支援を進める。		生涯学習課
①2	いこま寿大学を充実するとともに、OB会の活動を支援します。	いこま寿大学入学定員の増員【マニフェスト 8】	高齢者の生きがいづくり、健康づくりを支援するため、人気の高いクッキングクラブを1クラブ増設増員することで、H28からの入学者の定員を21名増員して募集を行った。また、学生委員会と調整会議を行い、学習内容を充実させるため検討した。	全体的な入学希望者数の減少。	生涯学習課
①3	市民ニーズの把握に努め、指定管理者のモニタリング等から得られる市民ニーズを把握し、利用者にとって利便性の高い生涯学習施設の管理を行います。	生涯学習施設整備事業	利用者が安全に安心して利用できるよう、各施設で建物や設備の補修等を行い、また備品購入等により施設の設備を充実させ、市民サービスの向上を図った。		生涯学習課
①4	現在図書館を活用していない方も利用しやすい多様な図書館サービスの拡充を図ります。	来館困難な高齢者等への本の宅配事業	本の宅配事業を、H23から鹿ノ台エリアで、H27から図書館本館エリアで開始し、H28からは、北分館、南分館、生駒駅前図書室エリアを加え市内全域で実施した。計317回		図書館
①5	子どもの健やかな成長の糧となるように子どもの読書活動を推進します。	子ども読書活動推進事業	おはなし会、絵本の会、出前授業等を実施した。参加者数:14,085人		図書館
①6	図書館が本を通じて語り合う場となるとともに、自ら本を選ぶ力や語る力を育み、中学生の読書活動推進やプレゼンテーション能力の向上を図るため、ビブリオバトル全国大会、ビブリオバトル市内中学生大会を実施します。	ビブリオバトル全国大会【マニフェスト 50】	H28年3月19日に第2回ビブリオバトル全国大会を開催した。参加者数:予選185人、決勝376人。予選と決勝の間に文学作家講演会を開催した。334人。		図書館

①6	図書館が本を通じて語り合う場となるとともに、自ら本を選ぶ力や語る力を育み、中学生の読書活動推進やプレゼンテーション能力の向上を図るため、ビブリオバトル全国大会、ビブリオバトル市内中学生大会を実施します。	ビブリオバトル市内中学生大会 【マニフェスト 51】	H28年12月22日に第2回ビブリオバトル市内中学生大会を開催した。 参加者数:予選115人、決勝166人。		図書館
②1	市民の学習成果を還元する学習会の開催を継続して支援します。	自主学習グループ補助金交付事業	補助対象学習会開催:209件、(内補助金交付件数170件)、補助金交付額:2,022,200円、参加者数:9,794人 自主学習グループが学習活動を通して得た知識や技術を社会に還元することを奨励し、また、文化祭の一環として自主学習グループフェスタ(成果発表会)を開催した。		生涯学習課
②2	生涯学習まちづくり人材バンクを充実し、活用を推進します。	まちづくり人材バンク設置事業	人材バンクの登録数:83件(個人59人、団体24件) 活用件数:490件 利用人数:9,495人		生涯学習課
②3	学校やボランティア団体等との連携を一層推進します。	PTA協議会補助金交付事業	日本PTA全国大会や近畿ブロックPTA研究大会等の参加費について補助するとともに、生駒市PTA協議会研究大会開催への補助金交付、市との共催事業で活動実行事業を実施した。		生涯学習課
②4	退職を迎えた世代の社会参加を促進するため、地域デビューガイダンス事業の充実を図ります。	地域デビュー促進事業 【マニフェスト 10】	シニア世代を対象に、現在、地域で活動されている市民団体やボランティア団体などの紹介を行い、これまでの知識や経験等を活かして社会貢献や絆づくり、コミュニティの形成など地域で活躍してもらえるきっかけの場を提供した。 ブース参加団体:28団体 ブース参加人数:491人 3月末日までの登録:53件 (うち当日ボランティア登録:24件)		生涯学習課
②5	市民との連携や協働のもと図書館サービスを進めています。	市民との協働の推進事業	生駒おはなしの会、生駒ビブリオ倶楽部、図書館声のボランティア、本の宅配ボランティア等と連携して事業を実施した。 また、「図書館とまちづくりワークショップ」を開催し、公募市民22人が3回にわたり意見を出しあった。		図書館

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	58.0	C	人材バンクの利用回数や自主学習グループによる市民向け学習会の開催数はいずれも目標値を上回っており、生涯学習の成果を地域に還元するしくみが定着し、お互いに学び合う環境が一定整っている。 今後、幅広い年齢層における生涯学習の広がりのほか、まちづくりを担う人材の発掘や養成に向けた取組をさらに充実し発展させる必要がある。
指標	目標値に達していない指標が多い		
市民の役割分担	27.4		
行政の4年間の主な取組	一部進捗していない取組がある		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	3	生涯学習の推進
基本施策	2	青少年
4年後のまち	①	地域、学校、家庭の連携のもと、青少年が「生きる力」と「心豊かな人間性」を身につけ、健やかに成長している。
	②	子どもたちが安全・安心に遊べて、地域の人たちと交流する場が整えられている。
	③	地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年の育成が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成29年5月実施】

設問①	地域、学校、家庭の連携のもと、青少年が「生きる力」と「心豊かな人間性」を身につけ、健やかに成長している。				設問②	子どもたちが安全・安心に遊べて、地域の人たちと交流する場が整えられている。				
	回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
	そう思う	43	7.3%	9.9%	9.9	そう思う	63	11.6%	14.1%	14.1
	どちらかというとそう思う	138	23.5%	31.8%	23.8	どちらかというとそう思う	128	23.6%	28.6%	21.4
	どちらとも言えない	208	35.4%	47.9%	24.0	どちらとも言えない	168	31.0%	37.5%	18.8
	どちらかというとそう思わない	30	5.1%	6.9%	1.7	どちらかというとそう思わない	60	11.1%	13.4%	3.3
	そう思わない	15	2.6%	3.5%	0.0	そう思わない	29	5.4%	6.5%	0.0
	わからない	147	25.0%			わからない	92	17.0%		
	無回答	6	1.0%			無回答	2	0.4%		
	総数	587	100.0%			総数	542	100.0%		
	有効回答数	434		100.0%	59.4	有効回答数	448		100.0%	57.6
設問③	地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年の育成が進んでいる。									
	回答	件数	比率	得点評価						
	そう思う	12	2.2%	3.3%	3.3					
	どちらかというとそう思う	59	10.8%	16.3%	12.2					
	どちらとも言えない	205	37.5%	56.6%	28.3					
	どちらかというとそう思わない	64	11.7%	17.7%	4.4					
	そう思わない	22	4.0%	6.1%	0.0					
	わからない	175	32.0%							
	無回答	10	1.8%							
	総数	547	100.0%							
	有効回答数	362		100.0%	48.3					
	全設問の平均				55.1					

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向			
①	青少年健全育成事業参加人数(人)	野外活動事業、国際交流事業、子どもの居場所作り事業、放課後子ども教室推進事業等への参加人数。少子化傾向にありますが、青少年の自立心や協調性を育むため、参加者のアンケート結果等を反映させ、現状値より多くの青少年が参加できる内容の実施に努めます。				
			<table border="1"> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>3,294</td> <td>6,018</td> </tr> </table>	目指す値	実績値	H28
目指す値	実績値					
H28	H28					
3,294	6,018					
担当課	生涯学習課		指標の把握方法(数値の出所)			
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	各事業の参加人数実績報告			
			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>			

②	青少年指導委員による巡回指導回数(回)	約120名の市民等に委嘱している青少年指導委員による巡回指導回数。登下校時や夜間等に巡回指導することにより、青少年の非行防止や安全確保を目指します。	<table border="1"> <caption>巡回指導回数実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>159</td><td>214</td></tr> <tr><td>H22</td><td>176</td><td>214</td></tr> <tr><td>H23</td><td>155</td><td>214</td></tr> <tr><td>H24</td><td>206</td><td>214</td></tr> <tr><td>H25</td><td>227</td><td>214</td></tr> <tr><td>H26</td><td>329</td><td>214</td></tr> <tr><td>H27</td><td>271</td><td>214</td></tr> <tr><td>H28</td><td>283</td><td>214</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>214</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>214</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	159	214	H22	176	214	H23	155	214	H24	206	214	H25	227	214	H26	329	214	H27	271	214	H28	283	214	H29		214	H30		214	<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>H28</td></tr> <tr><td>214</td><td>283</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H28	H28	214	283
	年度	実績値	目標値																																								
H21	159	214																																									
H22	176	214																																									
H23	155	214																																									
H24	206	214																																									
H25	227	214																																									
H26	329	214																																									
H27	271	214																																									
H28	283	214																																									
H29		214																																									
H30		214																																									
目指す値	実績値																																										
H28	H28																																										
214	283																																										
担当課	生涯学習課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所)	青少年指導委員巡回報告カード																																						
③	青少年健全育成団体に対する支援事業回数(回)	リーダー、ジュニアリーダー、ボーイスカウト等の青少年健全育成団体に対して支援する事業の開催回数。青少年健全育成のために積極的に活動している団体に対し、補助金交付等の助成を行うとともに、若者の力を活用した事業を展開し、本市に貢献できる青少年リーダーの育成に努めます。	<table border="1"> <caption>支援事業開催回数実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H21</td><td>16</td><td>20</td></tr> <tr><td>H22</td><td>18.0</td><td>20</td></tr> <tr><td>H23</td><td>12</td><td>20</td></tr> <tr><td>H24</td><td>13</td><td>20</td></tr> <tr><td>H25</td><td>18</td><td>20</td></tr> <tr><td>H26</td><td>22</td><td>20</td></tr> <tr><td>H27</td><td>34</td><td>20</td></tr> <tr><td>H28</td><td>32</td><td>20</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>20</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>20</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H21	16	20	H22	18.0	20	H23	12	20	H24	13	20	H25	18	20	H26	22	20	H27	34	20	H28	32	20	H29		20	H30		20	<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H28</td><td>H28</td></tr> <tr><td>20</td><td>32</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H28	H28	20	32
年度	実績値	目標値																																									
H21	16	20																																									
H22	18.0	20																																									
H23	12	20																																									
H24	13	20																																									
H25	18	20																																									
H26	22	20																																									
H27	34	20																																									
H28	32	20																																									
H29		20																																									
H30		20																																									
目指す値	実績値																																										
H28	H28																																										
20	32																																										
担当課	生涯学習課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所)	支援事業開催回数実績報告																																						

3 市民の役割分担 (市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成29年5月実施】

①1	地域で子どもを育てようという意識を持っている。				
	回答	件数	比率	得点評価	
	十分取り組んでいる	30	5.5%	5.8	5.8
	取り組んでいる	71	13.1%	13.6%	10.2
	少し取り組んでいる	151	27.9%	29.0%	14.5
	あまり取り組んでいない	157	29.0%	30.1%	7.5
	全く取り組んでいない	112	20.7%	21.5%	0.0
	無回答	21	3.9%		
	総数	542	100.0%		
	有効回答数	521	100.0%		38.0

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題 (ある場合のみ)	担当課
①1	青少年健全育成に関する情報提供や啓発活動の支援を行います。	青少年健全育成啓発事業	各種団体や指定管理者とも連携して、青少年健全育成事業及び啓発事業を実施した。 事業参加人数:6,018人		生涯学習課
①2	青少年の教育のため、地域、学校、家庭が連携できる環境づくりや取組の支援を行います。	チャレンジ教室事業	チャレンジ教室実施回数:2回		生涯学習課
①3	市民等が持つ能力を子育てに活かす体制づくりと活動の機会を提供します。	子どもの居場所づくり事業	いこまっこ教室実施回数:10回		生涯学習課
①4	青少年に関する相談体制・環境の充実を図ります。	青少年教育相談事業	教育支援施設の教育相談室で16歳から18歳までの青少年教育相談を実施した。来所相談の他、電話やメールによる相談にも対応した。 相談件数:19件		教育指導課
①5	ひきこもりや就労等に関する相談窓口を充実し、関係機関と連動しながら若者の自立のための支援を推進します。	若者自立無料相談事業【マニフェスト 26】	若者自立無料相談事業を実施した。 開催回数:46回(概ね月4回) 相談件数:228件 相談人数:54人	庁内関係課及び関係機関が連携し、効果的な支援を行うために「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」設置。今後は同ネットワークの拠点となる「総合相談窓口」の設置が必要となる。	生涯学習課
①5	ひきこもりや就労等に関する相談窓口を充実し、関係機関と連動しながら若者の自立のための支援を推進します。	若者のニート・ひきこもりや就労等に関するセミナーの開催、窓口設置・周知【マニフェスト 26】	若者自立支援セミナー開催回数:9回 市ホームページや広報紙、ツイッターによる情報の発信や、市内公共施設にポスターを掲示するなど周知に努めた。		生涯学習課

①6	指定管理者等と連携して、野外活動等の集団生活を通して自立心や協調性を育み、青少年の健全育成を図ります。	青少年野外活動事業	キャンプ実施回数:9回		生涯学習課
①7	障がいの有無、国籍や文化、性別、年齢などの違いを超えた多様性を理解し、それらを活かした社会の実現に向けた交流を行います。	ユニバーサルキャンプ事業【マニフェスト 25】	参加人数:60人 ボランティアスタッフ:24人 協賛・協力・後援企業団体数:17企業・団体	今後参加人数を増やすためには、実施団体の受け入れ体制や専門的なスキルをもったボランティアの確保が必要となる。	生涯学習課
②1	健全育成パトロールなど、地域ぐるみの児童生徒健全育成事業推進協議会が活動できる環境の整備・取組を推進します。	地域ぐるみ健全育成推進事業	学校・保護者・地域の関係機関が協議会を設置し、中学校区単位で児童生徒の見守り活動やあいさつ運動、地域における交流会などを実施するとともに、交流学習会や合同交流発表会も実施した。		教育指導課
②2	青少年が健全に成長できるように、有害環境の浄化など社会環境を改善・整備します。	青少年健全育成環境保全事業	犯罪・事故等を未然に防止することを目的に青色防犯パトロール巡回を実施した。 巡回回数:77回 青少年に対する有害環境の浄化を目的に市内店舗の立入調査や薬物防止の街頭啓発等を実施した。 実施回数:2回		生涯学習課
②3	子どもたちが地域の中で、安全に安心して遊び、大人たちと交流できる場・機会を提供します。	放課後子ども教室事業	放課後子ども教室(真弓・俵口・生駒東・老分) 総開催日数:87回		こども課
②4	街頭巡回指導による青少年非行の早期発見など、非行防止活動を強化します。	青少年指導活動事業	巡回指導回数:283回		生涯学習課
②5	青少年健全育成団体が活動できる環境の整備・支援を行います。	青少年健全育成団体支援事業	ジュニアリーダー、あすなる会、青年チーム、子ども会などの青少年健全育成団体が行なう事業への支援を行った。 支援事業回数:32回		生涯学習課
③1	青少年リーダー・地域リーダーの積極的な養成を行います。	青少年リーダー育成事業	青少年・青年育成登録人数:85人		生涯学習課
③2	地域のリーダーとして育てている青少年の活動の支援を強化します。	青少年団体育成支援事業	青年団体が行う事業 事業回数:4回 参加者数:220人		生涯学習課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	55.1	B	全ての指標が目標値を達成している。地域で子どもを育てる意識を高めてもらう取り組みとして、まず子育て世代への保護者にアンケート等を実施し、どのようなニーズ、支援が必要かの実態調査と現状の把握をしようとして、事業等の整備や地域ボランティアの人材発掘、確保に努めていく必要がある。不登校・ニート・ひきこもりへの支援対策として、様々なNPO団体と協働したセミナーの開催、「若者自立無料相談」を、自治会掲示板等で広く周知した結果、利用者が大幅に増加している。また、37の庁内外関係課及び関係団体で構成する「生駒市子ども・若者支援ネットワーク」を設置により、子ども・若者の支援に向けた効果的かつ円滑な支援体制の整備を進めてきた。今後はネットワークの運営と子ども・若者支援の拠点となる「相談窓口」の設置を進めていく。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	38.0		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがある程度実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	